

とくしまのがんばる企業を応援します

Tokushima

2023 June
No.479

企業情報とくしま

(公財)とくしま産業振興機構
www.our-think.or.jp

徳島の
企業

株式会社那賀ウッド / 地域材の活用で地域振興と環境保全を！



Contents

徳島の企業	02	平成長久館セミナー一覧	12
株式会社那賀ウッド		近日開催の平成長久館セミナー一覧	
とくしま起業人	04	事業紹介	13
● RERAISE (リレイズ)		とくしま経済飛躍ファンド 活用事例	
● 一杯の珈琲		「有限会社岸火工品製造所」	
事業紹介	06	徳島クリエイターズ・ライブラリ	14
徳島県プロフェッショナル人材戦略		登録クリエイター紹介	
拠点のご案内		アジア展望～上海事務所だより～	15
弁理士から一言	08	湖に囲まれた豊かな環境	
AIの著作権について		「蘇州相城経済技術開発区」	
徳島県よろず支援拠点	10	会館だより	16
原価管理でコスト削減！		補助金・支援金情報	

Pick up News

関連記事 P2

木粉(Wood Powder)で 木材の新しい利用方法で再生へ

2014年に株式会社イト日本技術開発、那賀町、木頭森林組合などの共同出資によって設立された株式会社那賀ウッド。地域材を新技術により丁寧に加工した自然素材の「木粉(MOKUFUN)」や、木粉を使った環境に優しい商品が話題だ。魅力ある持続可能な四国づくりにつながる優れた取組が認められ「木や森林を活用した林業6次産業化事業」が2023年の「第2回ローカルSDGs四国表彰」の「地域課題解決部門優秀賞」を受賞。森林の町の価値を高める那賀ウッドの事業について伺った。

株式会社那賀ウッド

森林が抱える課題を地域で利用することで解決



株式会社那賀ウッド
取締役副社長・統括マネージャー 庄野 洋平氏

地元の生産・加工・販売事業者と連携し「木質資源の活用・林業を通じた地域振興と国土保全」を事業全体のミッションにしている。事業は大きく分けて4つ。1.「木粉-Wood Powder-事業」、2.地域の伝統技術・革新技術により木粉や無垢材を活用した多様な木製品を製作する「木製品事業」、3.木育活動・森林教育活動を通じて地域の活力の源である「人材育成」を行う「教育事業」、4.地域材の活用を目指し、高機能・高付加価値の製品開発・研究を行う「木材用途開発・研究事業」を行っている。

一豊かな森林資源を活用へ 那賀ウッドの誕生一

庄野氏は、エイト日本技術開発の事業推進本部で新規事業を担当し、那賀ウッドの設立時から事業に携わり那賀ウッドの副社長も兼任している。幼い頃から祖父や祖母のタケノコ農園の出荷を手伝うなど、竹や木、森林は身近な存在だった。現在も阿南市でタケノコ農園も営んでいる。「竹は森林資源ではないと思う方もいらっしゃるかもしれませんが、竹も多く生えています。竹林も森林扱いです。森林の定義は、高さ5m以上の木や竹が生え、被覆率が30%以上あり、0.3haより広いと森林です」と話す。豊富な森林資源を活用したいという思いで事業を進め、木だけでなく、竹林整備もカバーしている。

木育・森林活動といった教育の場で子どもたちに最初に伝えているのは、世界や日本と比較しての那賀町の森林率や山の手入れの大切さだ。世界の森林率は31%。日



当社で製造している木粉

本の森林率は67%（人工林40%）、四国の森林率は74%（人工林率61%）と、四国は森林率が高いが、その中でも那賀町の森林率は95%（人工林率78%）と群を抜いて高い「森林の町」である。

木は、家屋や建築用資材、家具などの材料として幅広い用途で使用されてきた。材料だけでなく、料理や風呂を炊くときの薪、竹は、タケノコなどの食料、遊びの場や生活用具など、木や竹も生活の一部として多くの人々に使われてきた。現在では外国産材の流入、新築住宅戸数の減少などを理由に、国産材の活用が減少し、木や竹を材料としてきた生活用品もプラスチックに置き換わってきている。タケノコも徳島県はナンバーワンの生産地であったが、加工品など中国産が台頭している。

木や竹を使用しないのであれば、自然のまま山に放置しておけばいいのかというと、そうではない。全国でも手入れが滞った森林や山地は社会問題となっている。放置したままでは、森林が荒れ放題になってしまう。近年では線状降水帯など、予測が難しい異常気象による自然災害も多く発生している。荒れた山のままでは木が倒れやすくなる。山が崩れて水が溢れば、川から大量の水が流れて洪水被害が発生する。山と川と海、人とのくらしはつながっていて、山が荒れることは、山間部だけでなく、市街地などすべての人々にとっても問題であるということを伝えている。

全国有数の森林の町である那賀町も森林・山地の課題を多く抱え、森林資源を有効活用するために、木材の成分である高強



木粉、竹粉のサンプル

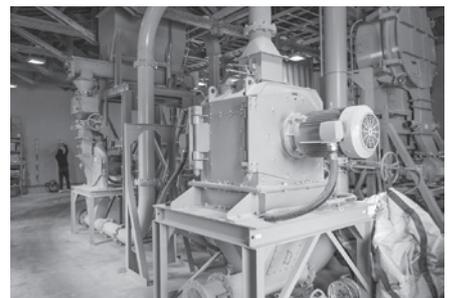
度、高耐熱性の「リグニン」を新素材として使った研究開発を大学などと一緒に進めていた。「リグニン」を素材にするためには、木から直接成分を抽出できないので、細かいパウダー状（木粉化）にする必要があった。木材のパウダー化を実現させ、課題解決をしようと、エイト日本技術開発に調査業務を委託。森林事業を通じて災害の防止だけでなく、商品の開発により地域活性化などを推進していこうという方針が決まった。そこでエイト日本技術開発が50%出資、那賀町が20%、木頭森林組合などが30%負担で共同出資をし、2014年に「那賀ウッド」が設立された。木粉だけで事業が成り立つのかどうかを検討し事業計画を作成。2015年には徳島県の「あったかビジネス事業計画」の認定も受けた。ミッションとして掲げているのは「木質資源の活用・林業を通じた地域振興と国土保全課題」。木を使いながら環境も守り、持続可能な地域循環に向けて、農山漁村と人口集中する都市を補完し合うような関係性で共存していけることを目指している。

一ここにしかできない木粉 (MOKUFUN) 一

木粉は粒子が細かく、英語の「ウッドパウダー (Wood Powder)」と言った方がイメージしやすいかもしれない。「おが粉」と「木粉」がよく混同されるが、木粉は「おが粉」よりもさらに小さく、粒子の形状が安定している。おが粉やチップ状の粒子が大きく、品質の安定した「木粉」も製造対応可能だ。当社における木片粒子の大きさ



木粉材料となる木材の背板や端材



木粉の製造設備



ローカル SDGs 四国で表彰



バイオヴィーガンレザー「バンブレナ」



木製のサーフボードや食器

による名称区分としては、チップは5mm以上、おが粉は1mm～5mmで、木粉は1mm(1,000μm以下)となっている。今までの「木粉」は、建築資材の製材過程や取り壊し木材のリサイクル過程で副産物として生成されていたため、不純物の除去や粒度調整が困難で、素材としての要求規格の高度化に対応しにくくなっていた。そこに那賀ウッドは「品質」を加える木粉2.0化を進めている。

製材所・木工所において、板や柱の長さ調節のために切り落とされた端材は、以前は処分されていたが、当社で粉碎加工することにより品質の高いバージン材の木粉として有効利用ができるようになった。粉にすることによって、吸水性、消臭性、断熱性、抗菌性、生分解性といった木の機能性がより顕著に出て機能性を発現する事も分かった。例えば、吸水性。木には吸水性があり水分を吸うが、板に水をかけても、拭き取ると多少の水分は含むが拭き取れる。これがパウダー状になった木粉に水をかけると、表面積が大きくなった木粉は瞬間的にすべてを吸水し、湿気も吸い込む。消臭性に関しても高い効果を得た。竹も粉状のパウダー状にすれば、匂いをより多く抑えて消臭性が高くなった。

那賀ウッドの木粉は国産材100%の純国産製品で、原料は生産地が明確な製材端材や背板を使用している。解体材不使用で、粘着剤、防腐剤、アスベスト、鉄くずなど不純物混入も無い。さらに他の素材と混ぜ合わせることもでき、成分の抽出、吸着、基材との活用方法も多種多様で、想像を超える活用方法がある。ベンチ、階段、遊具、防護柵、ウッドデッキ、ねんど、塗り壁、うちわ、扇子、発酵浴、線香など幅広いニーズに応えてきた。スギだけでなく、ヒノキ、竹粉、パーク(樹皮)粉など多くの地域材に対応している。

もし他社で同じ機械を使っても同じ「木粉」はできないという自負と、機械を扱う人の技術がある。機械に材料を投入し、破砕機で一次粉碎、二次粉碎と一連の流れで細かくし、ふるい分けていく。大きさが違う粗い「木粉」が中に入ったら粗いものを弾いていく。反対に粗いものが欲しければ細かい「木粉」をのける。顧客の要望に合うような粒度のものを作るために、機械の

設定をどうするかも技術だという。材料の違いや、気候の変化もある。春夏秋冬だけでなく、同じ月でも雨が晴れで湿度も違う。日々違う条件の中でも、最終のパウダー状になった時には、常に同じ品質を保てるのも強みだ。機械をどう扱えば、リクエスト通りの粒度や色目になるかという試行錯誤を重ね、地道にやってきた経験とノウハウがある。材料を揃えることについては周りの製材所や木工所、林業事業者ともタッグを組み協力体制ができています。

全国からの「地元の材を使ってSDGsに貢献したい」という商品作りにも応えてきた。千葉県の特産品である梨を生産する際に発生する梨選定枝を活用したいという要望に応え、粉碎加工し木粉からボールペンを作ったこともある。他社には作れない「木粉」は、北海道から九州まで全国各地から多種多様な要望があるが、用途に応じた試作テストをしっかりと行い、高い品質のものを届けている。

話題沸騰！竹が

「バイオヴィーガンレザー」の材料に

動物由来ではないアニマルフリーのレザー調素材である「ヴィーガンレザー」。合成のレザーには樹脂や石油由来の材料が使われているものもあり、自然素材に置き換えていこうという流れがある。石油由来原料を抑え、植物由来の原料を配合することにより環境に配慮した新しいヴィーガンレザーが「バイオヴィーガンレザー」だ。この素材に竹が使用されている。阿南市の竹を那賀ウッドで粉碎して竹粉化し、鳴門市にある共和ライフテクノでレザー加工を施した「BambLena(バンブレナ)」が誕生している。従来の革製品と同様におしゃれなバッグや小物になる。地元徳島県産の竹であることから生地の調達に要する二酸化炭素排出も抑えられる。まさにサステナブルな製品だ。

無垢の木製品

「Wood Board KUKU」

今までにない無垢の木製品をと、最初に取り組んだのが地元の「木頭杉」を使った大きなSUPボードだった。木が立ち伸びるさまを「クク」と言い、木の神様の名前の由来にもなっているところから「KUKU

(クク)」を名前に取り入れている。サーフボードや、レジャーやキャンプで使えるアウトドア製品、インテリア・食器・スマホスタンドなど、デザイン性があるお洒落な製品を世に出している。「木頭杉」を用いて品質が高く、喜んでもらえるような製品をつくり、製品を通じて「山と川と海のつながり」や「地元の環境の美しさ・素晴らしさ」を伝えていきたいという思いが込められている。森林の中でのアクティビティや教育事業でも使用し、活動を通じて人とのつながりや連携もできているという。COOL JAPAN AWARD(クールジャパンアワード)2019アウトバウンド部門を受賞し、海外からも高い評価を得ている。

これからに向けて

これからも地域が持続可能に続けていけることを念頭に『価値ある環境を未来に』を合言葉に事業を進めていく。イチオシ商品は、パナソニックプロダクションエンジニアリングとの共同で製品開発を行い誕生した植物由来の優しい食器「BOTANICAL」。木頭杉と、阿南市の竹の間伐材を粉碎加工し、品質の高いパウダーと樹脂を混合している。高い安全性が求められる、ハードルの高い給食食器の加工にも使用が予定されている。今後も、地域のものを使って愛着のあるデザインのものをつくっていく。また、徳島県だけでなく全国各地の地域の魅力を発信し、事業者の魅力を発信するようなオリジナルグッズを制作したいという要望にも積極的に取り組んでいく。

(文責：藪田ひとみ)

Company Profile

会社名 株式会社那賀ウッド
所在地 〒771-5408 徳島県那賀郡那賀町吉野字弥八かへ1番
代表者 小谷 満俊氏
設立 2014年4月28日
資本金 1,000万円
従業員数 5名
TEL 0884-62-1163
FAX 0884-62-1164
Mail: info@nakawood.co.jp
URL : https://www.nakawood.co.jp/

パーソナルトレーニングジム「RERAISE (リレイズ)」
株式会社RERAISE

代表者/白川知明

設立日: 2022年11月11日

〒770-0047 徳島県徳島市名東町1丁目41-7

従事者数: 3人

電話: 090-2780-2013

URL: <https://gym-reraise.com/>

全米ストレンクス&コンディショニング協会認定
(NSCA-CPT) トレーニングジム



起業の経緯を教えてください

もともと、向上心旺盛で、ざっくりと“社長”になりたいと思っていたものの、自分に合っているものが分からないまま、サラリーマン時代を過ごしていました。そして、子供が生まれたタイミングで、子供に誇れるものが欲しくなり、独立を見据えてRIZAP株式会社へ転職、約2年間の勤務を通じ、身体改造のノウハウを学ぶとともに、自らの身体改造で、自分自身に、より強く自信を持てるようになりました。それに伴い、人生が輝きだしたことを実感し、この喜びを多くの人に伝えていきたいと思い、パーソナルトレーニングジムの開業に踏み切ることとなりました。まずは、アパートの一室にてトレーニング教室をスタート。その後、エミールカルチャー&マルチスペースでの講座やカルチャーセンターの講座を受け持ちながら、2020年4月、アパートの教室が手狭のため、現在の住所に教室施設を設けました。

御社の主な事業内容を お知らせください

開業当時の事業であるパーソナルトレーニング 月額8,800円〜 新規

事業であるセルフ脱毛専門店セルフフリージー 脱毛3,190円〜 ホワイトニング3,980円、が現在の主な事業となります。「パーソナルトレーニング」と聞くと、なんだか敷居が高いように感じるかもしれません。ですが、パーソナルトレーニングは初心者の方や過去にボディメイクに失敗してきた方にこそ必要なものなのです。ダイエットやボディメイクに失敗する多くの理由は、“続かない”こと。初心者の方がいきなりトレーナー不在のジムに行ってしまうと、自分の身体に合わない無理なトレーニングをしてしまい、結局続かないという結果になりがちです。RERAISE (リレイズ) では、「運動は生涯あるべきもの」という想いのもと、一人ひとりに合わせた“続けられる”トレーニングプランをオーダーメイドでご提案しています。もちろんトレーニングだけでなく、日々の食事や生活習慣に対するアドバイスも。店舗までなかなか来れないという方には、zoomを使ったオンライントレーニングも実施しています。

起業して大変だったこと、 良かったことはありますか

起業して大変だったことは、とにかく時間に追われることでした。経理も営業はもちろん、役所等への手続きなど煩雑な作業も一人で行わなくてはならないこと、お客様が増えてくれば、時間のやりくりにも苦慮することもあり、丸一日手が空くというのはなかったように記憶しています。また、新規事業に取り組んだ際には、その認知度向上が一番の課題となっていました。徳島では、めずらしいセルフ脱毛 (SHR

方式) です。これをどのようにして伝えていけばいいのか? まずは知ってもらって、足を運んでもらうにはどうすればいいのか? その解決のヒントは、経営者仲間とのつながりで見つかったように思います。そういった仲間づくりができたこと、同じ境遇を持つつながりが大きな財産となっています。

創業される方にメッセージ

やりたいことがあったら、すぐにも行動してほしいと思います。特に、ヒトに喜んでもらえることだったらなおさらだと思います。考えて考えて終わるよりも、まずは、小さく始めてみてはどうでしょうか。私は30歳で開業を決意しました。そして、やってみたら何とかなるものになって実感しています。やってみないと分からないこともあるはずなので、とにかく、やりたいこと、どのように人のためになるのか、つきつめてほしいと思います。



創業コーディネーター
伊勢貞雄より

白川さんは、開業後もやりたいことを、そして、お客様のためになることを突き詰めていながら、顧客を増やすだけでなく、新規事業、法人化、雇用拡大にも取り組まれ、着々とステップアップされています。これには、貪欲な向上心だけでなく、多くの経営者仲間との交流を通じ、勉強されており、その姿には、開業当初から変わらず非常に好感が持てるものであり、それがヒトを惹きつける人柄なのかなと思っています。アフターコロナにおいてもさらなるステップアップを期待しています。

一杯の珈琲

代表者/井上嵩規

徳島県小松島市中田町内開18-1

創業：2020年2月10日

Instagram：@acupofcoffee02



ACUPOFCOFFEE02



起業の経緯を教えてください

コーヒーとの出会いは大学時代。おススメされたコーヒー専門店で購入した淹れたてコーヒーに衝撃を受けました。そこから社会人2年を通して自分にしかできないことに取り組みたいと思い、最初は資金もお客さんもゼロの状態だったので、テントで提供する移動販売「一杯の珈琲」を始めました。その後、小松島に拠点となるMINATOHEを2021年10月にオープンしました。

主な事業内容を教えてください

メインのコーヒーは、鳥取県の自家

焙煎店から焼きたての豆を取り寄せています。自分が学生時代から惚れ込んだコーヒーをたくさんの方に伝えたいと思います。また、テント営業から意識しているのはコーヒーの味はもちろんこだわっていますがそれ以上にコーヒーに付随する時間の演出に力を注いでいます。『このコーヒーを持って何処か出かけてみよう』そんな時間を提供することです。

起業して大変だったこと、良かったことはありますか？

まず初めは知名度がなかったのでPRが大変でした。まず人目に付くような取り組みを増やし、そこから徐々にお客さんが増えていきました。またお客さん一人一人に自分がどういう経緯でお店を作って、どこを目標にしているのかを認識してもらうことによりお店とお客さんが一体感があるようなお店づくりを今も心がけています。

良かったことは自分の時間を自分の意思で過ごせることが一番良かったことです。もちろん責任は全て自分ですがストレスフリーに働いています。

起業を志す方にメッセージをお願いします

まずは行動することです！小さなことから行動する。いわばタネを蒔く作業です。そこから出たビジネスという芽を丁寧に育てていくことが大切だと思います。

取材をしてみた感想

今回の取材を通して多くのことを学びました。自分にしかできないことを探すのは簡単なことではないし多くの努力が必要になります。私は今大学2年生なのでまだ色々な体験ができると思うのでその中で自分にしかできないことを探していきたいと思いました。

(取材：徳島文理大学 尾原康介)



創業コーディネーター
里見和彦より

井上代表は、週末だけテントで露店販売する「一杯の珈琲」としてスタートしました。県内様々な場所で出店を繰り返し、様々なメディアにも取り上げられ、着実に顧客と認知を積み重ねていきました。そして、時期をみて実店舗「MINATOHE」をオープンし、安定した経営をされている実例のひとつです。また、自分のようにカフェや菓子で開業したい方のサポートにも取り組んでいます。「一杯の珈琲」に込められたコーヒーをぜひ味わってみてください。



徳島県プロフェッショナル人材戦略拠点のご案内

プロフェッショナル人材事業とは

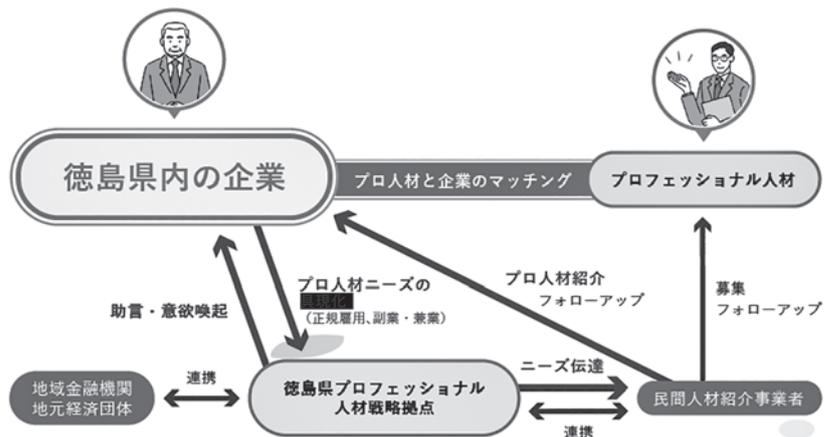
この事業は、内閣府の「地方創生」の一環で、東京をはじめとした都市部に集積している「プロフェッショナル」と呼ばれる人材に、地方有力企業への転職を促し、その人材活用により企業が成長、結果として雇用や人口が増加し、地域の活性化を図るというものです。これを受けて、東京を除く全国

46道府県に「プロフェッショナル人材戦略拠点」が設置され、徳島県では、平成27年12月1日に「(公財)とくしま産業振興機構」の組織内に開設されました。現在、事務所を県庁内におき、マネージャー1名、サブマネージャー3名、アシスタント1名の計5名体制で活動しています。

拠点活動の仕組み

金融機関や各経済団体等の紹介のほか、拠点独自でニーズの見込まれる企業を抽出のうえ、訪問し企業経営者等と面談します。当拠点はハローワークと異なり、人材紹介機能（あっせん機能）を有していないため、具体的な人材のニーズがあれば、その情報を人材紹介会社に繋ぎます。情報を受けた人材紹介会社が求職者を探して、求人企業とマッチングを行うこととなります。

マッチングの流れ



これまでの活動実績

2022年度の実績

256件の人材ニーズに関する相談があり、157件人材会社へ取り繋いだ結果、プロ人材104件、一般人材57件、合計161件の成約となりました。

開設からの累計

相談件数は1,526件、事業説明を行った企業数（2回目以降の重複を除く）は796社となり、プロ人材359件、一般人材264件、合計で623件の成約となっています。

2023年3月末現在

活動内容	開設～2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(4～3月)	累計
相談件数(件) ※新規相談企業数(社)	195 (174)	246 (197)	244 (153)	141 (65)	213 (56)	231 (58)	256 (93)	1,526 (796)
求人企業数(社)	96	100	113	79	107	89	140	724
人材会社への取り繋ぎ件数(件)	103	107	124	112	153	121	157	877
①プロ人材成約件数(件) ※(うち副業・兼業)	12	28	28	37	54 (1)	96 (7)	104 (6)	359 (14)
②一般人材成約件数(件)	—	12	43	65	35	52	57	264
①+②成約件数合計(件) ※(うち副業・兼業)	12	40	71	102	89 (1)	148 (7)	161 (6)	623 (14)
新規成約企業数(社)	6	25	30	39	30	30	43	203

今年度の重点活動

地元金融機関との連携

これまで以上に幅広く県内企業の人材ニーズを収集するため、県内企業との深い結びつきのある地元金融機関（阿波銀行、徳島大正銀行、四国銀行、徳島信用金庫、阿南信用

金庫）との間で連携協定を2021年12月に締結し、2023年3月までに当該連携協定に基づく紹介を80件受けており、今後ともこの取組みを積極的に推進していきます。

「副業・兼業」人材の活用

都市部の大企業などで働きながら「副業・兼業」を希望する人材を迎え入れるという新たな人材活用手段が近年注目されており、セミナーの開催やアンケート結果を受けた訪問活

動などにより、これまでに14件成約しました。引き続きその取組みを強化していきます。

※「副業・兼業」人材とは

- 大企業や個人事業主として働きながら、地方の企業等と業務委託契約を結ぶなどして、企業の経営課題解決の支援を行う人材です。
- マッチング方法は、一般的な人材紹介と同様に、企業と副業・兼業人材の仲介サポートを行う「エージェント型」と、インターネット等を用いて、直接、企業と副業・兼業人材を繋げる「プラットフォーム型」の2つに大別されます。
- 「副業・兼業」人材を活用するメリット

必要な業務を必要な期間だけ依頼できる

半年程度で人事制度を見直してほしい
3ヵ月程度でブランディング戦略を考えてほしい

正規に人を雇うより費用を抑えられる

(例) 正規雇用：25万円/月（期限なし）
副業・兼業：10万円/月（3ヵ月）

業務委託契約の場合 月単位で解約できる

予定よりプロジェクトが早く終わった
あまり相性が合わなかった

セミナー開催などの広報活動

当拠点の更なる利用促進を図るため、副業・兼業などをテーマにした人材活用セミナーの開催やわかりやすいPR冊子『PROFESSIONAL』の作成配布などを行っていきます。

人材の必要性を感じたり、お知り合いの企業で人材を求めている先がございましたら、ぜひ当拠点までご連絡ください。お待ちしております。



お問い合わせ先

徳島県プロフェッショナル人材戦略拠点

〒770-8570

徳島県徳島市万代町1丁目1番地
徳島県庁5階 労働雇用戦略課内

電話：088-635-0611

FAX：088-635-0617

E-mail: pro-jinzai@our-think.co.jp

AIの著作権について



和田特許事務所
弁理士 和田 隆滋

弁理士は敷居が高いと感じることもありますが、身近な存在であり随時相談を受け付けております。ぜひお気軽にお越しいただければと思います。

1.はじめに

皆様、こんにちは。弁理士の和田隆滋（わだりゅうじ）です。知財に関する情報を皆様にお伝えさせていただいております。

さて、第16回目は、「AIの著作権」についてお話をさせていただきます。

2.AIについて

ChatGPTに代表されるAIチャットボットがプロンプトに応答し、文章、画像、動画等のコンテンツを生成するシステムを生成AIと称しています。ChatGPTは、2022年11月に公開され、2023年3月にはGPT4が公開されました。誰でも無料で利用することができるため、皆様も一度は利用したことがあるのではないのでしょうか。Microsoft BingにてGPT4を利用することができます。

3.AIの著作権について

現在、AIの著作権について議論が進められているところです。現行法では、著作権法第2条第1号に、「著作物 思想又は感情を創作的に表現したものであつて、文芸、学術、美術又は音楽の範囲に属するものをいう」と規定され、同条第2号に、「著作者 著作物を創作する者をいう。」と規定されています。者とは自然人に限定されるというのが法解釈で、ロボットや動物は著作者になることはありません。すなわち、著作者のいない著作物はないという考えであり、AIが生成したコンテンツに関しては、人による思想又は感情を創作的に表現していないものであれば著作物には該当しないということになります。

一方で、AIが生成したコンテンツを複製や公開等で利用した場合に、他人の著作権の侵害が成立するののかという問題があります。人がAIを用いて著作物を創造したのであれば、著作権侵害は現行法で対応可能ですが、前述のように簡単なプロンプトでAIが生成したコンテンツは著作物ではありませんので、現行法で著作権侵害が成立するかどうかは私にはわかりません。現時点で、我が国でAIが生成したコンテンツの著作権侵害が争われた事案はありません。

著作権の侵害は、依拠性と類似性という観点で判断されます。依拠性とは、著作者が他人の著作物を参考にしていたかどうかであり、類似性とは、似ているかどうかです。類似性については客観的な判断でよいのですが依拠性については主観的な判断となります。AIで生成したコンテンツの依拠性については、AIが学習したデータにその著作物があれば、依拠性が立証可能であると考えられますし、「〇〇風の音楽を作曲して」、というプロンプトで作られた音楽を複製、公開してしまうと著作権侵害が成立する可能性は高いと思われます。

4.さいごに

皆様も会社や家庭でAIを利用されていることとは思いますが、AIを当たり前のように活用する社会となりつつあります。私も今回この記事を書くにあたって、AIチャットボットを研究しましたが、非常に便利であることは間違いありません。近い将来において、弁理士の業務の一部がAIに取って代わられることになるでしょう。

一方で、AIの著作権については議論が始まったばかり

です。最新のニュースで「日本の著作権法ではAIの学習目的で著作物を利用するのは法律違反に当たらないが、AIが生成した画像などを販売すると著作権侵害に当たる場合がある。これについて文化庁の担当者は周知・広報させる方針を明らかにした。」という報道がありました。

AIの利便性とAIの著作権の問題は表裏一体です。いくつかの報道を見ていると、我が国は他国に比して、AIの利便性を重視しAIの規制に消極的なように思われますが、文化庁は前述のようにAIの著作権侵害が成立するという指針を出してきました。

今後、著作権法はAIに対応した法改正が行われること

になるかと思えます。現時点でAIは正しい判断を行うことができませんので、AIの活用に際し著作権でお困りの場合は、我々弁理士に相談してください。

著者略歴

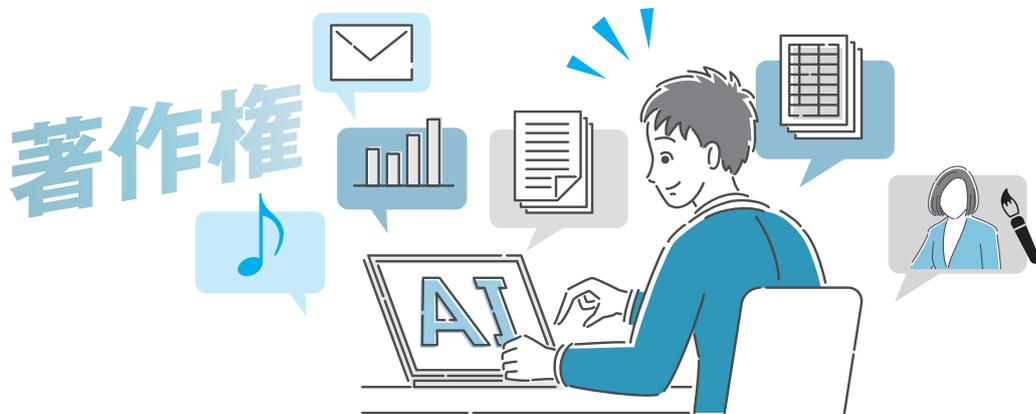
日本弁理士会四国支部

支部長 **和田 隆滋** (弁理士登録番号19945)

1977年 徳島市生まれ

徳島大学 大学院 工学研究科 卒 (2004年)

地元の半導体関連会社に入社 (2004年4月)。生産技術部で7年間従事し、その後、東京の特許事務所を経て、徳島において和田特許事務所を開業 (2016年9月)。



独立行政法人工業所有権情報・研修館 事業

INPIT徳島県知財総合支援窓口のご案内

INPIT徳島県知財総合支援窓口では、知的財産の専門相談員(窓口支援担当者)が知的財産(特許・実用新案・意匠・商標・ノウハウ・著作権等)の取得や活用についてアドバイスを行う無料相談を実施しています。知的財産を活用して、皆さんの事業を活性化してみませんか?とくしま産業振興機構・徳島県よろず支援拠点などの支援機関と連携して、皆さんの事業展開を支援します。こんなこと相談しても大丈夫かな?と思わずに、お気軽にご相談ください。もちろん無料で、弁理士・弁護士にも定期的に相談もできます。

INPIT徳島県知財総合支援窓口

窓口支援担当者 / 青木 幸司・岩田 治三・依田 司・
井上 修・河端 繁勝

〒770-8021 徳島市雑賀町西開11-2 徳島県立工業技術センター2階
一般社団法人徳島県発明協会内

<http://chizai-portal.inpit.go.jp/madoguchi/tokushima/>

相談無料
秘密厳守

皆さんからのお電話お待ちしております!

☎ 088-669-0158





原価管理でコスト削減！



佐藤 剛 徳島県よろず支援拠点サブチーフコーディネーター

中小企業のあらゆる経営上の悩みに対応するため、(公財)とくしま産業振興機構内に「徳島県よろず支援拠点」を開設しています。皆様のお役に立ちそうな支援内容を「徳島県よろず支援拠点」のコーディネーターが交代で紹介していきます。

徳島県よろず支援拠点のコーディネーターの佐藤です。今回は、原価管理をテーマにお話しさせていただきます。

1. 原価管理とは

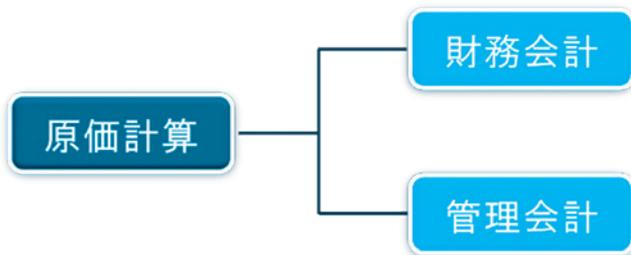
原価管理とは、製品を製造するためにかかっている原価を「固定費」と「変動費」に分類して、原価の設定や実績との比較、問題点の分析などを行い、対策を立てて利益を改善することです。

① 原価管理の目的

- ・製造のムダをなくして利益を上げるために行う。
- ・原価の目標水準との差異を確認することで、現場管理や改善に役立つ情報が得られる。
- ・価格設定や、会社の損益計算の根拠になる。

② 原価計算の目的

原価計算は、会社の製造活動を数値化するために行われる。



- ・財務会計：金融機関をはじめとする外部の利害関係者に対し、経営成績や財務状態を提供することを目的とした会計。
- ・管理会計：会計情報を、経営者の意思決定や会社の業績測定、業績評価のために会社内部での使用を目的とした会計。

2. 原価計算の要素

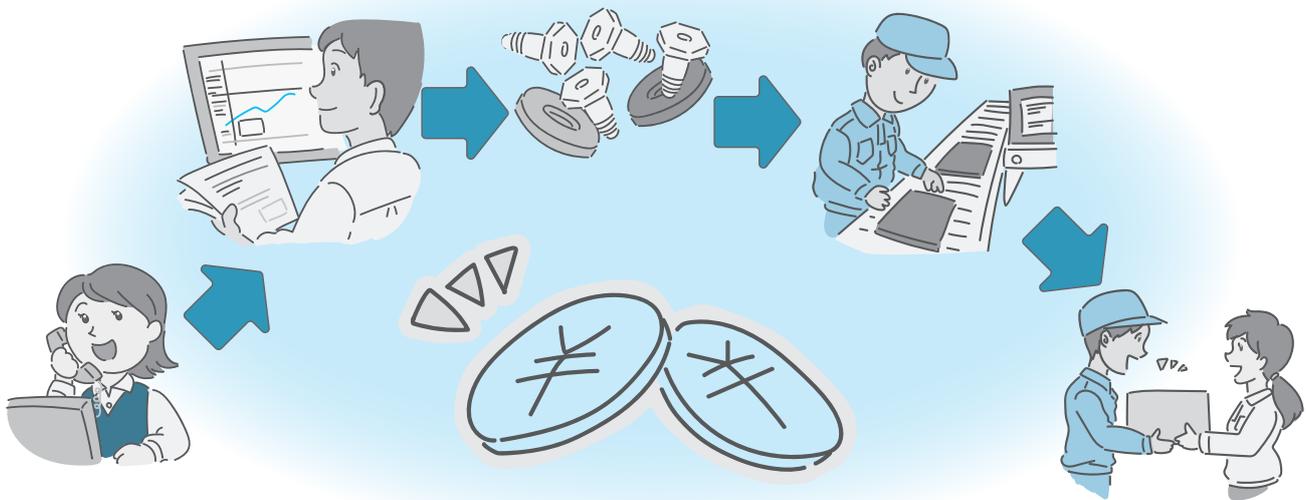
- ・材料費：原材料費、買入部品費、消耗品費など
- ・労務費：賃金、給料、賞与、福利費など
- ・経費：減価償却費、賃借料、電力料、旅費交通費など

3. 原価計算の要素

- ・製造直接費：製品との関連を直接的に把握できる費用
- ・製造間接費：複数の製品に共通に消費されるなどの理由で、製品との個別対応計算ができない費用

	製造直接費	製造間接費
材料費	直接材料費	間接材料費
労務費	直接労務費	間接労務費
経費	直接経費	間接経費

			営業利益		製品の販売価格
			販売費	営業費	
			一般管理費		
間接材料費	製造間接費	製造原価	総原価		
間接労務費					
間接経費					
直接材料費	製造直接費	製造原価	総原価		
直接労務費					
直接経費					



4. 原価計算の手順

① 標準原価の設定

まずは、標準原価を設定します。標準原価とは、製品の開発や製造の際に目安となる原価のことです。標準原価と実際原価の差異を分析することで、ムダがなかったかを把握でき、改善につなげやすくなります。

標準原価を設定するためには、妥当な生産工程を設定し、標準的な作業者が作業を行ったときの原価でなければなりません。実際原価との差異が大きい作業員に対しては、標準原価で設定した時間で作業が完了できるような努力目標とします。これは生産機械に対しても同様で、成り行きを生産を防ぐことにもつながります。

② 改善行動

標準原価と実際原価の差異が出た場合「なぜこの差が生まれたのか？」という分析によって、製造におけるムダや課題が明確になれば改善するための経営行動につながります。例えば、仕入れ価格に問題があるのであれば、仕入れの数量や、発注頻度の調整などにより単価交渉することで原価低減が実現できます。また仕入れ業者の選定基準に活用することも可能です。

原価管理を適切かつ正確に行うことができれば、安定した収益を確保することができます。生産現場のムダの改善によるコスト削減も期待できます。売上を増加させることは容易ではありませんが、ムダなコストを削減することで社内から利益を生み出すことができます。

よろず支援拠点の連絡先は以下のとおりです。

徳島県よろず支援拠点

徳島県徳島市南末広町5番8-8
徳島経済産業会館2階

HP <https://yoro-zu-tokushima.go.jp/>

よろずにゴー

電話088-676-4625



受付時間

【平日】 9:00～17:45

【休日相談会】

●第2・第4日曜日 10:00～17:00 徳島駅前ポッポ街

●第1・第3土曜日 10:15～17:00 アミコビル9F

(最新情報を確認して下さい)

新型コロナウイルスに関する経営相談窓口を設置しております。相談希望の方は上記、徳島県よろず支援拠点にご連絡ください。

近日開催の平成長久館セミナー一覧

セミナー名	開催日時	場所	概要	受講料
【第2回 DX 推進セミナー】 新しい経営に向けてリーダーが 持つべき視点	7月5日	オンライン、 とくしま産業振興機構	DXにより大きな成果を上げている旭鉄工株式会社の代表取締役社長である木村氏より、DXの手法とその際に経営者が持つべき視点についてご紹介します。	無料
品質管理基礎 (仕事の基本) セミナー	7月7日	とくしま産業振興機構	品質管理は、お客様の期待や要求に応えることに満足を得て、会社や社員が豊かに幸せになることを目指しています。セミナーでは、仕事に対する基本的な考え方や手法を学び、社員の能力向上を図り、現場力の向上に貢献することを狙いとしています。	2,000円
事業再構築補助金セミナー	7月11日	オンライン、 とくしま産業振興機構	本セミナーでは、事業再構築補助金の概要やポイント、注意点などを解説します。	無料
とくしまデザイン塾 第3回	7月12日	とくしま産業振興機構 ※当日参加が難しい場合、前期講座は後日オンデマンド受講可	講師：とぶとり堂 代表取締役 佐藤 あすか 氏 Clover Studio 代表 坪井 秀樹 氏 技術講座ー2「グラフィックデザイン」 ロゴデザインや各種紙媒体のデザイン、商品紹介文の作成やコピーライティングについて学びます。	1,000円
ゼロゼロ融資対応資金繰り セミナー	7月18日	とくしま産業振興機構	本セミナーでは、新型コロナウイルス感染症対策で借り入れたゼロゼロ融資を、どのように返済すればよいかなど資金繰りの方法を学びます。	無料
小規模事業者持続化補助金 活用セミナー	7月21日	オンライン、 とくしま産業振興機構	本セミナーでは、小規模事業者持続化補助金の概要や申請書作成のポイント、注意点などを解説します。	無料
起業力養成講座	オンデマンド 視聴 申込みは 随時受付	オンライン (徳島大学での講義動画配信)	実業家やベンチャー起業家、銀行員、中小企業診断士といった各分野の専門家が創業に必要な基礎知識を解説します。	2,000円 (初回受講時のみ)

■ 企業力の強化、企業や組織の核となる「人財」の育成を支援

デジタル技術を活用した 企業の人財育成・新事業展開を目指す

とくしま経営塾
平成長久館 × Digital 長久館



セミナーについての詳細は、
こちらのページで御確認ください。



平成長久館メールマガジンのご案内

とくしま経営塾「平成長久館」では、開催するセミナーのご案内などを掲載した「長久館メールマガジン」を発行しています。

次のQRコード先よりお申し込みいただけましたら、ご登録情報へ開催セミナーのご案内をさせていただきます。

皆様のお申し込みをお待ちしています。

お申し込みはこちら →



とくしま経済飛躍ファンド活用事例 有限会社岸火工品製造所

代表取締役 岸 洋介 阿南市新野町林148-1 TEL 0884-36-3644 FAX 0884-36-3647

1 ファンドを活用して開発した（販路開拓した）商品について教えてください。

名称【ニューノーマル消費形式に対応する阿波藍花火開発】

新型コロナウイルス拡大により、花火に関する消費の仕方は様変わり致しました。

大型花火大会は軒並み中止となり、高台で打ち上げ、分散してみる花火などの需要が拡大しました。そこで必要となるのが①火の粉対策②花火カス対策です。

①高台ということで山林の頂上など、普段消費することがない場所は火気対策が必要条件です。そこで弊社は特殊導火線を用いて火事の起こりにくい花火を開発しました。

②花火カスは玉皮、星の芯、割葉の芯の3つに分かれます。特に割葉の芯は風に舞い最大500mほど飛ぶことがあり、車の塗装を傷めることもあります。

そこで、この3つの花火カスに着目し、玉皮は30%減、星の芯、割葉の芯は発生しない形での花火作りに成功致しました。

まず自社での消費と販売の2つの軸での展開を想定しておりましたが、自社での消費のリクエストが多く、今まで打ち上げたことのない場所での実績が格段に増えております。

●実績

- | | |
|------------|----------------|
| 1.阿南市津峰山 | 秋の大祭 |
| 2.徳島市眉山 | Bリーグ運営チーム創設 |
| 3.神戸第二突堤 | ばしふいっくびいなす出航花火 |
| 4.徳島市文化の森 | ニューノーマル映画祭 |
| 5.徳島市藍場浜公園 | 水都祭 |

2 商品開発に至った経緯を教えてください。

顧客のニーズは、夏に当たり前のように無料で見えていた花火を見たいという部分やコロナ禍において窮屈な日常を忘れ、開放的な気持ちを得たいなど確実にあります。

実際に、下記の通り地域観光局（四国の右下観光局）と実施した花火のモニターツアーについても非常に満足度が高いことがわかりました。

【2020年9月12日実施夏休みを取り戻せ

Special 花火作り鑑賞ツアーアンケート結果】

○宿泊（もみじ川温泉）・花火鑑賞		うち大人		うち子供	
満足	18	90%	10	100%	8
やや満足	1	5%	0	0%	1
ふつう	1	5%	0	0%	1
やや不満	0	0%	0	0%	0
不満	0	0%	0	0%	0

満足意見

- ・料理も温泉も良く大満足。（40代女性）
- ・花火は「私たちだけ」の特別感がありよかった。（40代女性）



花火が打ち上げられる新たな場所で、安全な形で消費ができることにこれからの需要があると判断し、ファンドを活用した商品開発を進める形となりました。

3 これからの展望・目標について教えてください。

これからの展望は①いかに花火の価値を上げるか②花火を自由に打ち上げる場所を確保できるかということにフォーカスしております。

具体的には、映画チケットを購入するように花火を有料で見る環境へのチャレンジと、自社のホームグラウンドといえる通年自由に花火が打ち上げることができる場所を地元で確保できるよう、地域の方々にご協力いただきながら進めております。

花火の経済効果は非常に高いことから、地域創生の大きなコンテンツとして、活躍できるよう努力をしております。

とくしま経済飛躍ファンド事業では、他にも多くの県内事業者の新商品開発・展示会出展を支援してきております。当事業についての詳細は、こちらの連絡先で御確認ください。
TEL 088-654-0103
機構ウェブサイト
<https://www.our-think.or.jp/305385/>



TOKUSHIMA CREATORS LIBRARYは、徳島県内のクリエイターを掲載・データベース化したウェブサイトです。多くのクリエイターの登録を促すことにより、商品開発やプロモーションに当たり、県内クリエイターの技術や創造力を探している企業や人々が、希望通りのクリエイターに出会う契機となることを目的としています。また、デザイン関連のセミナー情報なども発信しています。



<https://tokushimacreators.net/>



twitter
<https://twitter.com/TokushimaCre>



facebook
<https://www.facebook.com/tokushimacreatorslibrary>

INTERVIEW

アートディレクター・デザイナー

大東 浩司さん

デザイナーは伴走者。 共にゴールを目指し、共に喜ぶ仕事

徳島で活躍する様々なクリエイターを紹介するウェブサイト『徳島クリエイターズ・ライブラリ』。こちらのページでは『徳島クリエイターズ・ライブラリ』の登録クリエイターのインタビュー記事をお届けします。

日本タイポグラフィ年鑑や日本パッケージデザイン大賞ほか、いくつかのデザインアワードで受賞するなど、長年クリエイティブの第一線で活躍されている大東浩司さん。かつては大手百貨店の社内デザイナーとしてキャリアを積んできました。独立後は、“伴走型”のデザイナーとして多くの企業のブランディングデザインを手掛けています。“伴走型”とはどういうことなのか。また、大東さんはどのような思考で仕事をされているのでしょうか？



「デザインをするということは、森を見ながら木も見ようなもの」だと話す大東さん。

それは「俯瞰で全体を捉えながらも、細部の合理性を失わないようにこだわること」だと言います。

そんな大東さんのデザイナーとしてのルーツは、大手百貨店に勤めていた頃にあります。

「社内デザイナーという専門職だったのですが、売場に立つこともよくありました。その“売場に立つ”ということがデザイナーとして、とても勉強になったんですよ。作った広告を見られたお客様がどのように行動し購買に繋がっているのか、現場で見聞きしたことを次の仕事にフィードバックするという考え方は今も生かされています」

8年間百貨店のデザイナーとして勤めた後に事務所を開いた大東さん。

アートディレクター・デザイナーとして、今も多くの企業や商品のブランディングデザインに関わっています。



デザインに“思考の余白”を持たせること

「ブランドをデザインするというプロセスは、クライアントの事業の根幹に関わる重要なファクターだと思うんです。だから、プレゼンテーションは100%まで作り込んだものを提案するのではなく、あえて議論の余地を残すようにしています。デザインにおける“思考の余白”です」

「もちろんしっかり作り込んだものをプレゼンすることもある」と言いますが、クライアントとの対話の中で、事業の本質的な部分について議論したり、目指すべき目標について問いかけをしたりしながら、デザインの方向性を決めていくのが基本のスタイルなのだそう。

その意味を大東さんはこう話します。

「僕にとってデザイナーとは、クライアントと一緒に走り共に成長する伴走者のようなもの。デザイナーが一人で考えて作りきってしまうことはある意味簡単なことかもしれませんが、クライアントにもデザインのプロセスを共有してもらい、一緒に考えてもらうことを大切にしています。ロゴをプレゼンする時にもコンセプトをしっかり確認するのは“好き嫌い”だけで判断しない思考を持っていただくためでもあるんです」

クライアントと共にデザインを考えていく作業は、ブランドの基礎を作り上げていくことであり、事業自体のブラッシュアップにもなっているんですね。

こういったやりとりは、物事の様々な問題点を見つけて解決する能力を高める、お互い



の成長の場にもなっていると言う大東さん。

つまり、デザイナーという垣根を超えた長期的なパートナーであるということ。

それを一言で表したのが、「デザイナーとは伴走者」という言葉だったのです。

だから、大東さんはクライアント一人ひとりと向き合う時間が自然と長くなるのだそう。

「クライアントと一緒にゴールを描き、そこへ向かって一緒に走っていくのが僕の仕事です。大事な時に支えられる伴走者だからこそ、ゴールしたときには一緒に喜べるんですよ。それは小さなお店のオーナーさんでも、大企業の経営者の方でも同じこと。クライアントとのそうした関係の積み重ねが、今の自分の仕事の芯になっていると思います」

決してクリエイターのエゴを押し付けるようなことはせず、クライアントに寄り添い、共に考えることを大切にするデザイナー大東さん。

今日も誰かの隣で、デザインという名の伴走を続けています。

アジア展望

上海事務所だより

山田 寛之

(公財)とくしま産業振興機構
上海事務所 所長

湖に囲まれた豊かな環境 「蘇州相城経済技術開発区」

上海市に隣接する江蘇省蘇州市相城区の「蘇州相城経済技術開発区」は研究開発拠点として、また製造拠点として日本をはじめとした国内外からの投資を積極的に誘致しています。誘致を担当する蘇州相城経済技術開発区経済貿易発展局（招商局）を訪問し、開発区を視察するとともに、同局の取り組みについてお話を伺いました。

相城区は蘇州市の中心部に位置しており、「2022年蘇州市統計年鑑」（蘇州市統計局）によると区の面積は約490km²、人口は約90万人で蘇州市の市区面積・人口のいずれも10%あまりを占めています。上海虹橋駅からは高速鉄道（日本の新幹線にあたります）で最寄りの蘇州北駅まで30分足らずで到着します。

東は上海蟹の産地として有名な陽澄湖に臨み、西は中国第三の淡水湖で観光地としても名高い太湖に面する、風光明媚な場所です。区内には多数の桜を植樹した公園を整備しており、3月下旬に公園内の特設会場で開催された「第2回長江デルタ国際桜祭りおよび産業イノベーション大会」に参加した際には満開手前の美しい様子が印象的でした。

「蘇州相城経済技術開発区」は2002年に省級、2014年に国家級の経済技術開発区に認定されました。開発区の総面積は約47km²、区内の総人口は約12万人。今回、開発区の中核をなしハイテク企業の誘致を進める「澄陽核心区」と、日本企業をはじめ国内外の、主に製造企業の誘致を促進する「中日中枢服務核」を相城区招商局の方にご案内いただきました。

区南部に位置する「澄陽核心区」にはハイテク産業の研究開発を行う企業が集積するとともに企業向けの各種サービスを行う機関を有しています。ここには開発区が特に注力するデジタル金融や航空宇宙産業、先端材料、バイオ医薬などを担う企業の研究開発拠点や、これらの企業に向けた総合的なサービスを提供する機関の整備が進められています。

また、この地区には住宅施設やショッピングセンター、外資系ホテルが建てられ、2024年には蘇州北駅からの地下鉄も開通する予定です。企業活動だけでなく、生活環境の整備に向けた取り組みが進められています。

一方、北部にある「中日中枢服務核」は約8.1km²の工業用地の整備を進めており、一部の整備済み区画には既に企業が入居し、生産活動が始まっています。大小の区画をそろえ、より広い土地が必要な場合は複数の区画を組み合わせることも相談できるそうです。こちらの地区についても生活環境の整備を順次進めていく計画です。

現地を案内いただいた相城経済技術開発区経済貿易発展局（招商局）の李さんは「開発区への投資にあたっては招商局が支援を行うほか、区内には複数のインキュベーション（創業支援）企業があり、皆さんの活動をお手伝いする

体制が整っている。住宅家賃が上海市内に比べて半額程度など、コスト面での有利さも強み」と話します。招商局には李さんをはじめとして流暢な日本語を話す人材が揃っており、日系企業が安心して投資できる環境が作られています。

日本からの投資誘致の取り組みに関し、李さんの話では「日系企業に対して開発区を紹介してもらうよう、蘇州市内に拠点を置く日本の銀行や商事会社と契約を結んでいる」そうです。招商局では当所をはじめ上海市内に事務所を置く日本の自治体事務所との連携も強化しており、様々な方面から開発区のPRに取り組んでいることがうかがえます。

筆者と相城区との交流は2021年9月に、開発区の紹介と投資誘致を目的として上海市内で開催された「経済文化交流会」に遡ります。その際には、今回お世話になった招商局ではなく、区で対外交流を担当する外事弁公室の方に招待いただきました。担当部局だけでなく関係する部署と連携した取り組みを見ても、開発区への投資促進に力を入れていることがわかります。

中国への投資に関心があっても、いきなり開発区の窓口で連絡するのは敷居が高いもの。上海事務所では今後も中国の地方政府との関係を構築し、県内事業者の皆様との窓口になるよう努めてまいります。今回ご紹介した蘇州市相城区経済技術開発区をはじめ、中国各地での投資や販路開拓・拡大に関するご質問・ご要望がございましたらお気軽にお寄せください。

電話：+86-21-5255-0231

E-Mail：info@tokushima.sh.cn



写真) 蘇州相城経済技術開発区の中核「澄陽核心区」
(蘇州相城経済技術開発区経済貿易発展局（招商局）提供)

海外ビジネスマッチングサイト「e-Venue」の御案内

JETRO SERVICES Field C



あなたと海外をつなぐビジネスマッチングサイト

e-Venue

無料 無料サービス ONLINE限定



こんな時におすすめ

- 1 海外の仕入先・販路を開拓したい、生産・販売のパートナーを探したい。
- 2 海外との取引・法人設立等で、業務を支援してくれる法人を探したい。

SOLUTIONS

1. e-Venueユーザーは世界160カ国以上・約2万人

e-Venueはインターネットを使い、ビジネスパートナー探しができるマッチングサイトです。
インターネット環境があれば、いつでも、どこでもご利用いただけます。(登録、閲覧無料)

2. 海外のビジネス案件も日本語で閲覧

海外から登録されたビジネス案件は、日本語と英語で閲覧でき、各国・地域の商品・サービスを比較・検討しながら関心のある商品・サービスを見つけたら、チャット機能で簡単に問合せもできます。

3. あなたのビジネス案件を世界に発信

あなたの商品・サービスもe-Venueに登録すれば、世界にPRができ、ビジネスチャンスが広がります。
(e-Venueは英訳、ユーザー/ビジネス案件の登録代行、ビジネス案件の推薦、
取引仲介等は行っておりません。)

4. 企業信用調査レポートを優待料金で利用

海外取引のリスク回避には、海外企業信用調査サービスをユーザー優待料金でご利用いただけます。

▼ JETRO e-Venueサイト



お問い合わせ先：以下の連絡先、または最寄りのJETRO国内事務所にご相談ください。
企画部 情報データ統括課
TEL：03-3582-5215 E-mail：e-venue@jetro.go.jp

JETRO e-Venue 検索